

楠まちづくり新聞

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

自主防災会訓練報告

防災訓練を12月3日（土）に大阪暁光高校の運動場および総合館内で実施しました。



避難誘導訓練（大阪暁光高校へ）



高校生の模擬患者を搬送訓練

厳しい寒さの中、町会・自治会・自主防災会および学校関係者を中心に約



消防車乗車体験

大人向けには応急手当訓練と患者搬送訓練、子ども向けには消防車乗車体験や消火器訓練、煙体

三百三十名の方に早朝からお昼過ぎまで参加していただきました。

つながる会 発行
会長 玉崎和実
事務局 白井春夫
広報部 高石正憲

最後には全員参加のバケツリレーを暁光高校のグラウンドを使って行っただけ、食堂で温かいカレーを試食しました。全行事は諸団体の支援を受けて無事に終了しています。



参加者全員でバケツリレーによる消火訓練



食堂にて非常食の試食

詳しい訓練の内容はホームページをご覧ください

楠小学校区つながる会では、10月22日（土）に和歌山稲村の火の館（安政の大地震の津波防災館）の見学に行きました。

稲むらの火の館へ 視察研修の実施

火の館は濱口梧陵が、震の状況から普通の地震夜に起きた安政地震の津波襲来時、村人を助ける波に稲束を積み重ねた稲むらに火をつけて、この火を目印に村人を誘導して多くの人の命を救ったとの事です。館では上記の話と、地震津波に関する3Dシアターの映像もあり、東日



本大地震発生前、平素から小学校で避難訓練を行っているために地震時、皆が訓練通りに避難したために全員無事であったとの話も聞きました。

家族同士も各々が別の場所にいるときは、平素、避難場所を家族で決めておけば探しに行つて犠牲となるよりは、お互いを信用し個々で避難した方が良いとの報告もあり、防災の勉強にもなりました。

平素より、災害に対する知識をもち、いざと云う時には、冷静な判断ができる認識が必要であることを実感しました。

研修部 工藤部長

編集後記

まちづくり新聞の第十二号をお届けします

メール kusunoki.info@gmail.com

<http://ksrd.jp/kusunoki/>

つながる会

検索

地域の活動報告

南北貴望ヶ丘 合同防災訓練



合同防災訓練の開始

南北貴望ヶ丘自治会では、去る十一月十二日（土）に合同で第二回目の自主防災訓練を実施しました。事前に南北から三役を中心に行方委員会を立ちあげ、市役所との折衝、訓練道具や豚汁の具（野菜）の購入など事前に準備を進めました。当日は曇りつない秋晴れの好天に恵まれ、百余名の多数の参加がありました。冒頭、河内長野市役所職員の紹介に続き、両防災部会長の挨拶があり、その後AEDの訓練と消火訓練の二組に分

れ、早速訓練に入りました。予め編成された四班が二組に分れ、一班ずつ交替で、担当職員から詳しい説明を受けた後一人一人が順番に訓練に入りました。消火器使用とテンプラ油の消火訓練は時間がかからずスムーズに進行しましたが、AEDの方は作業が複雑なので時間がかり、二組の時間配分に工夫が必要だったとわかりました。

二組が交替して全ての訓練が終わった後、炊き出し班が用意していた豚汁を全員で頂きました。マッチで点火して時から燃やすのは、電気やガスの便利な生活に慣れている現代人にはひと苦労だったようです。全員が温まった豚汁を頂きました。



AEDを使った訓練



防災マップを使って説明

ら、事前に南北の役員が地域を調査して作成した防災マップについて、両防災部長から説明を受けました。貴望ヶ丘地区は高台で地形的に整備されているので危険箇所は少なく、一番気懸かりなのは地震のとき、電柱に取り付けたトランスが頭上から落下してこないか注意して歩くことだとわかりました。



炊き出しの豚汁をいただきました

いざ地震のときは、南北それぞれ一次避難場所に一旦集結し、ここから市指定広域避難場所の楠小学校か暁光高校へ移動することになります。一回だけの訓練では充分ではありませんが、今回多くの住民が自主的に訓練を体験し、日頃余り顔を合わすことのない南北貴望ヶ丘の住民が交流できたのも良かったと思います。ご参加下さって有難うございました。

（伏谷 記）

人材バンク 情報

災害時において地域で活躍が期待できる専門的スキルを持った人を事前登録しておく、人材バンクの設置を進めています。

当「人材バンク」は求人・求職のためのものではありません。さらにボランティアの募集や登録でもありません。

平時に「近くにこんな人が居る」との理解を深めるために人材バンクを活用してください。

第四号 登録

第4号の登録者の方は、松ヶ丘中町のMさんです。Mさんは昔看護の経験があります。患者の苦し

LM自由ヶ丘 消防・防災訓練

12月4日（日）の10時〜10時45分の間は消防訓練を70名の参加のもと、避難・初期消火・はしご車消火器訓練を実施し、その後11時より集会所に

て、防災訓練「AED操り、訓練は大切と考え、作「担架作り」・「血止め介護」などを実施しました。

当マンションは302戸の大型集合住宅でもあ

た。今後、多数の参加と防災意識をたかめて行くと考えております。理事長 中辻 仁

12月4日（日）ライオンズマンション千代田 自衛消防・防災訓練

今年に入ってから、震度7を超えた熊本地震の後も全国各地で大きな地震や津波の被害が相次いでいる中、火災や地震が発生した際に居住者が迅速・的確な避難方法を身に付けておくため、河内長野消防署のご指導のもと、自衛消防・防災訓練を2時間にわたって実施しました。

10時からの消防訓練において避難場所に集まった後、参加者70名は、消防はしご車による高層階からの避難と消火器訓練を実地体験し、冬場は特にストーブに近付き過ぎたことによる「着衣着火」に注意してほしいとの指導を受けました。



はしご車による避難訓練



消火器訓練

引き続き、11時から行われた防災訓練には36名が参加し、応急担架作りやけが人の応急処置方法を相互指導のもと体験した後、市危機管理課の指導のもと、AEDの使用方法を役割分担の上、体験しました。



ライオンズマンション自治会の方に紙面を作っていました

